

第二回



～滝上高校の軌跡～

第2回目となる常歩無限は滝上高校一期生であり同窓会会長でもある小島文夫さんに取材させて頂きました。

Q. 高校生活はどうのようなものでしたか?

まず、体育館がない、グラウンドがない、校歌がないとないもののづくりだった。入学式は当時の滝上の体育馆を借りて実施していた。グラウンドもないのに体育は基本的に廊下、教室等で行っていた。

午後は作業が多く、石拾いやローラーかけ等の環境整備が多かつたと思う。

一期生といふこともあり、先生の指導は恐らく今よりももっと厳しかった、「伝統を創るのはお前達だ」と指導されてきた。

今思うと滝上中をはじめとして滝下、滝西、白鳥、札久留、奥札久

留、中雄柏、下雄伯、滝奥と多くの学校の生徒が進学していく、学校が違つても皆仲よく、まじめだった。

上の学年がいなかつたため、先輩らしい振る舞いというのが分からぬからか、割と後輩とも友達感覚で仲良く付き合いができるいたと思う。ただ初年度(一期)が100名、一期以降は3クラスで約150名の生徒がいたため、今の滝高のよ

うに全員の顔と名前は一致しなかつたと思う。

イベントの中では、修学旅行が今は違つて、半月かけて目的地へ、当時はバスもなく汽車で陸路を進む旅だった。やかん、ゴザ、板等を持ってやかんは水筒、ゴザや板は客席を渡してベット代わりに使用したのが思い出深い。

Q. 当時の部活動はどうのよひな部があつたのですか?

今は個人の種目が多いが、当時は団体スポーツもあつた。自分は当時野球部に所属していて、この辺りの高校には珍しくラグビー部があつた。他にも女子バレー部、卓



野球部 練習の様子

小島さん、一期生ならではの貴重なお話ありがとうございました。
次回はどなたになるでしょうか、乞うご期待。

球部、軟式テニス部があつた。

Q. 滝上高校に思つた事は何かありますか?

自分が入った時、まだ1学年の頃はさみしかつた。だが新入生が入り、3学年が揃つたときから滝高祭も始まって、にぎやかになつていつた。今後はそろつていた学年が徐々に少なくなるので在校生がさみしさを感じる場面も多くなると思ってる。それが非常に残念だ。



修学旅行の集合写真